

熊谷の絵画

熊谷を代表する近代の画家を紐解きますと、女流南画家 奥原晴湖(1837-1913年)、東下に初の洋画団体「坂東洋画会」を組織した、大久保喜一(1885-1948年)後にこの会には「朱麦会」と改名されました。「朱麦会」を里見明正(1912-1974年)が率いて多くの画家に影響を与えました。タウンタウン6号でご紹介させて頂きました大野百樹先生に引き続き、3名の先生方にご登場頂きました。熊谷にはまだまだ多くの芸術家の方がおいてます。この紙面を通して皆様に「芸術の熊谷」をご紹介致します。そして何時の日か熊谷美術の常設が叶いますようお願いしております。



奥原晴湖 大久保喜一 森田恒友 里見明正

宮下和子(日本画)



昭和28年 熊谷市石原に生まれる
昭和41年 熊谷市立石原小学校卒業
昭和44年 熊谷市立荒川中学校卒業
昭和47年 私立共立女子高等学校(東京)卒業
昭和53年 東京藝術大学(日本画専攻)卒業
昭和55年 東京藝術大学大学院(日本画専攻)卒業

資生堂キャリアリイ(銀座)
ギャラリイ玉屋(銀座)で個展、グループ展
昭和58年 創画会春季入選 結婚
父親の勤務の関係で高校から上尾に在住
大学時代は南浦和〜東京に在住
昭和63年 35歳の頃、熊谷に在住
出産育児の期間、絵筆を置いた
平成5年 画塾を持つ
平成8年 八木橋アートサロン初個展
以後5回開き、現在に至る
平成11年 妻沼バスロータリーのタイトル画の下絵制作
平成13年 熊谷 幸安寺 新書院天井画制作

【連絡先】
360-0816 熊谷市石原1724-12
048-523-9080

「家族が第一」
五月の爽やかな風の中、咲き誇るバラの花に囲まれた古い建物に木彫りの(絵画塾)の小さな看板。
宮下先生の画塾をお尋ねした。本格的な日本建築の床の間、欄間、天井の高いずしりとした空間に、安らぎと懐かしさを感じた。祖父が大工だったので、しっかりと建物が残ったのでしょ?とおっしゃる。お庭で丹精込めて咲かせた花々がテーブルに生けられていて、塾生が集い各々筆を走らせることだろう。宮下先生は画塾を「人生を抱えた方々の集い」とおっしゃる。
入塾のウエイチンが最も長い画塾である。祖父が建てた家で画塾を催せる喜びを、私がかこて塾生の皆さんと過ごしている事を一番喜んでくれるのは祖父だと思えますと語られた。父親は勤務の関係と子供の才能を感じ、広く世の中を渡らせようとしたのであろう。東京の共立女子高校への進学を勧めた。
東京藝術大学受験に当たり二浪をして日本画専攻の27倍の倍率を突破した先生の天分、加えて環境として、高校から上尾に暮らし、東京通学があったかもしれない。
東京藝術大学では平山郁夫先生に1年の時教を、その後大学院で藤原先生に師事。平山先生は優しい方で、傍でスーとみているのですよと話し下された。芸大には、凄く環境があるのだと改めて感じた。宮下先生は画塾と係りの「やれる時に、やれるだけやりましよう。高い目標



【連絡先】
360-0164 熊谷市橋井1474 048-536-2357

志邨武久(油彩画)



1930年 熊谷市に生まれる
1954年 東京藝術大学油絵科卒業
1956年 同大学専攻科修了
1958年 選抜新人展にて新人賞を受賞
1958-62、67年 個展(サエグサ画廊)
1962-76年 新樹会出品・同会員
1963-65年 フランス留学、ルーブル美術学校在籍
1964年 サロン・ナショナル農及び青年絵画展他出品
1965年 安井賞新人展出品(国立近代美術館)
1965-77、86年 国際形象展招待出品
1970-73、75年 個展(渋谷・西武、大阪ほか)
1977年 「和の会」結成(銀座・和光)25回展にて散会
1981年 自選展(熊谷)
1982-86、89-93年 個展(銀座・和光)
1987年 東京藝術大学創立100周年記念展出品
1991-92、04年 個展(熊谷・三越、静岡、宮崎)
1992年〜 立軸会展出品(以後毎年、同人)〜08退会
1998年 自選回顧展(銀座・和光)
1999年 日本テレビ「美の世界」出演
2000年 『画業50年の軌跡展』(熊谷市文化センター)市主催
2006年 『紺綬褒章』受賞、熊谷市教育委員会「文化功労賞」受賞
その他、都内および各地にて個展多数、グループ展等に出品
現在に至る

【連絡先】
360-0164 熊谷市橋井1474 048-536-2357

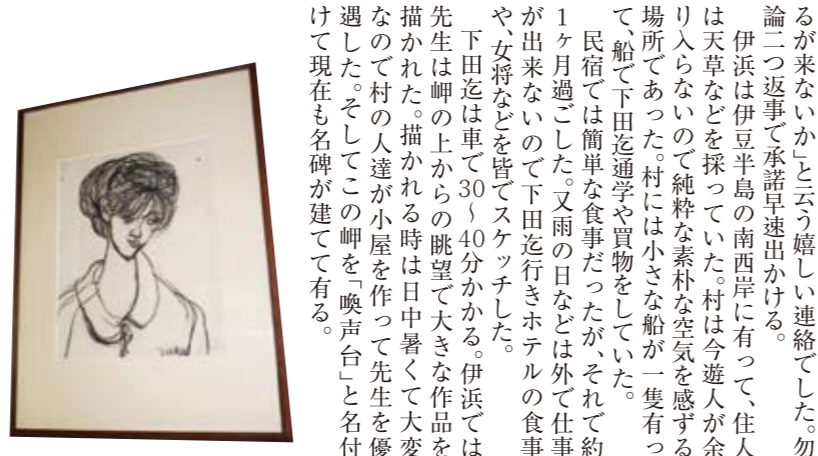
「黄とブルーの自然な世界」



白い山(妙高白皚)100F

忍城藩医の12代目の三男として熊谷に生まれる。
熊谷市内より大橋を渡り、立正大学方面、楊井の丘陵地帯の丘の上に志邨武久先生のアトリエが佇む。
昭和5年、熊谷市石原の医師の三男一姉の三男として生まれる。先祖は忍城の藩医、兄上で13代に渡る。絵に興味を持ち始めたのは旧制中学校の2年の頃、寄居に疎開しては、安井曾太郎氏と知遇を得た。その後、学校制度が新制度に変わり、埼玉県立熊谷高等学校の第一回卒業生。
東京藝術大学美術部油絵科に15倍の難関を経て入学、持って生まれた才能が開花していく。
芸大油絵科梅原教室卒業後、専攻科林武氏の教室。
油絵科は梅原龍三郎、安井曾太郎が教室を持っていた。志邨先生は梅原教室に入り、研鑽を積まれた。
梅原、安井両氏が芸大を去られた後に林武氏が着任。林教室に入室し林先生と生涯にわたる良き師弟関係が作られていった。
世田谷区船橋町にアトリエ建設
林武氏命名の「七象会」を結成。「黒土会」結成。絵画展が催された。フランス船に港に寄港しながら渡仏、ルーブル美術学校に入学。サロン・ナショナル等出品。南仏を中心に旅行を繰り返した。2年後再び航路を帰国。三越、高島屋、サエグサ画廊を中心に出品活動を盛んに行っていた。南仏の太陽を感じさせる黄とブルーは先生の世界。何とも美しい。「芸大に入っても、ダメ

なものはダメで、止めていく人も少なくないのですよ」と芸術で生きてゆく厳しさも語られた。
林武先生との南伊豆1ヶ月の写生旅行
フランスから帰って1年余り、林先生から連絡が入り1ヶ月に渡る伊豆写生旅行に同行。伊豆に着いた師と弟子は、何事も替えて難い時を過ごしたに違いない。雨が降るとね、写生が出来ないの、下田に降り出し下田のホテルで食事をするのですよ」と当時を思い起こし、微笑む。その下田のホテルのママのデッサン(林先生画が志邨先生の自宅玄関に飾られていた。天分に思まれた師弟の豊かな時であったらう。
転地療養
その後も出品展は多く、45歳の時時時腸炎で緊急入院、療養を続けながらの制作であったが、医師より転地療養を勧められ、40年間の東京生活から故郷熊谷に49歳の時移った。現在の住まいは楊井の地は先生の黄が麦秋となり包んだ事ださう。健康を取り戻され、銀座和光の「和の会」、林先生の「風林会」への出品。埼玉県熊谷市が先生の在熊をどの程心強く思っただらう。美術展の出品、審査を快くこなされている。
日本人の持つ本来の優しさ
先生とお話を交わさせて頂き、帰りの車



【連絡先】
360-0164 熊谷市橋井1474 048-536-2357

第7回定例総会を無事終えました!
去る5月18日(土)第7回定例総会が行われました。会員数24名(賛助98一般10)のうち出席42名、委任状10名で過半数を充足し総会が成立、すべての議事が承認されました。ここに報告します。
総会には埼玉県補助事業として市民共同発電所を設置した立正幼稚園の高橋事務長に臨席頂いたほか、新副会長の根岸友憲さん、吉田嘉高さんも、当会の発展に尽力したいとの力強い言葉を頂きました。当日のゲストスピーカーは立正大学地球環境学部非常勤講師の菊池建太先生。熊谷の小麦について本州一の収穫高であることを再認識。円安による小麦価格の変動や当会との連携提言など貴重なお話を伺いました。
懇親会では和気藹々と第7回定例総会の料理を堪能。最後に集合写真を撮影しお開きとなりました。



ゲストスピーカー 菊池建太先生講演中



根岸友憲さん(新副会長) 吉田嘉高さん(新副会長)

「園児と共に太陽光発電を学びます」
当園の父母の会のOGが多く在籍されている「NPO法人くまがや小麦の会」様より埼玉県の助成金制度事業の一環であります、「市民共同発電所事業」を立正幼稚園太陽光発電所として、設置するとう計画をもち頂きました。小麦の会様が公益団体による資金集めの主催者となり、公益施設立正幼稚園に太陽光発電所を設置するとう計画。立正幼稚園の園舎にソーラーシステムが設置され、園内に発電状況を示すパネルが設置されることは、園児への再生エネルギー学習に、素晴らしいものと考えました。父母の会とも協議をさせて頂き、募金活動が開始されました。
「NPO法人くまがや小麦の会」の向会長様をはじめとした小麦の会会員の皆様との綿密なお打合せが続き、目標金額の150万円を超える募金を達成することが出来ました。埼玉県からの助成金100万円も小麦の会様を通して頂戴し、48kwのソーラーシステムの設置が完成いたしました。皆様の

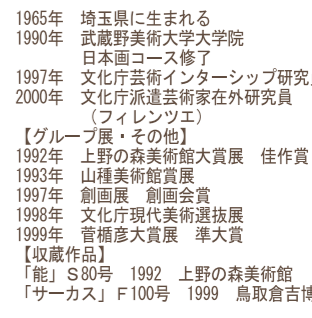


太陽光に園児も感心 NPOが市民発電所



立正幼稚園太陽光発電所完成式

関田比佐子(日本画)



1965年 埼玉に生まれる
1990年 武蔵野美術大学大学院 日本画コース修了
1997年 文化庁芸術インターシップ 研究員
2000年 文化庁派遣芸術家在外研究員(フィレンツェ)

【グループ展・その他】
1992年 上野の森美術館大賞展 佳作賞
1993年 山根美術館賞展
1997年 創画展 創画会賞
1998年 文化庁現代美術選抜展
1999年 菅橋彦大賞展 準大賞
【収蔵作品】
「能」S80号 1992 上野の森美術館
「ザ・カス」F100号 1999 鳥取倉古博物館

【連絡先】
360-0044 熊谷市弥生2-25
048-521-0338



ご実家 うなぎの老舗「廣川」

「舞台と観客の繋がり」
新装なったくまがや本店は熊谷のランドマークとして17号国道にそびえている。この6階100名を収容する大ホールがある。この入口を熊谷うちわ祭りの山車を描いた50号の日本画が飾る。
天保年間には熊谷に開業し、180年の歴史を持つ「うなぎの老舗 廣川」が御実家の関田比佐子先生の作品だ。
今回は「廣川」さんに営業時間のインターバルに取材として伺わせて頂いた。
関田先生は子供の頃から絵を描く事が好きで、熊谷在住の日本画家、渡辺鶴空先生の教室に通われ、武蔵野美術大学日本画学科に入学。大学院を修了後は創画会に出品、文化庁の派遣でイタリアに1年間留学。研鑽を積まれた。関田先生の略歴にご紹介した輝かしい経歴を経て、現在熊谷農業高校で美術を教えながら、ご自身の作家活動と両立されている。
舞台と取り巻く観客の繋がりを追って、「能」歌舞伎



空中ブランコ 熊谷商工会議所会議室展示中

株式会社 平松
代表取締役 日向研一郎
歴史が育む無限の可能性...地域密着・食品卸売業
原材料食品は包材まで御用命下さい
We are HIRAMATSU
〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL: 048-521-0026
●ビッグヘアショッピングモール (埼玉熊谷市代1067)
●熊谷・トイボックス・スポーツセンター・ブルームン・大塚
●平松運輸株式会社 (埼玉熊谷市中奈良1797-1)

ジョイカル熊谷南店 joye!!
鎌塚自動車
スズキ自動車復代理店
新車・中古車販売
カーリース
自動車保険
車検・点検
乗ります!!
〒360-0122 埼玉県熊谷市樋春 115
TEL 048-536-3711 / FAX 048-536-3718

C-BIC
http://www.c-bic.co.jp
ソックス無料プレゼント
ボウリングで肥満と生活習慣病対策を!
tel:048-531-3016
埼玉県熊谷市久保島981-1
年中無休で営業中
C-BIC 熊谷
ソックス無料 プレゼント実施中
営業時間: 平日 10時から3時・土日祝9時から3時 年中無休

学校法人 熊谷立正学園 立正幼稚園
園長 馬橋 旭
心からなるご協力に感謝申し上げます。
園児たちは毎日発電される様子、売電される様子、パネルから読み取ってあります。幼児期から再生エネルギーへの興味を持つ良いチャンスを提供しました。誠に有難く感謝申し上げます。